

第 344 回 IEC 研究会議事録

日時：2019 年 11 月 10 日（日）13：30-17：00

場所：電腦・匠工房（アクセスマップ <http://www.takumicobo.com/company/access.html>）

書記：中谷

出席：江見、岡田、中谷、西本、森際、田中、加藤

Zoom 参加：中西

欠席（届出）：河野、高橋、安谷、矢島、横山、広田、石川

1.会務（初回連絡・報告、情報回覧等）および、その他

12 月の例会会場

尼崎市立立花北生涯学習プラザ

諸会連絡

- ・ 11 月 24 日 IEC30 周年記念フォーラム（於関西学院大学）の参加者と費用徴収の件
- ・ ホームページのアドレスセキュリティ更新の件

2.自由枠

・ 10 月 29 日に開催された「港湾の仕事の魅力を知る」港湾短大神戸港イベント）中西先生からの報告

- ・ 園田女子大学情報コミュニケーション学会のワークショップのデモンストレーション

・ 10 月 14 日匠工房で実施した「中学生・小学生高学年対象のワークショップ」を受けて、情報科目を担当する教師側の困難な点を洗い出す作業。森際・西本・中谷がマイクロビットのプログラム製作体験。

・ 教科書を使った際の、生徒側と教師側の着目点、プログラマー視点の違い。プログラムの拡大表示機能、プログラムコードのスペース・インデント（タブ）が Python には必要なことなど。→スペースよりタブキーの方がキーボード上のキーがあるので初心者にはわかりやすい（森際）

・ ボタン操作のプログラムは 10 月 14 日の小中学生の時には時間不足でできなかったので、作業確認

- ・ ボタンのモーメンタリとオルタナティブの違い
- ・ プログラム言語の英語が読めるか、パソコンのキーボード操作がどこまでできるか
- ・ プログラマーのプロによるデバッグ方法の解説（岡田）
- ・ 3 人体制のジャンケンをするための「アルゴリズム」「プログラムの設計」を考えることができるか→回覧書籍掲載のプログラムは授業で可能かどうかの検証

- ・ノウハウ的なレクチャーをしてあげる方が高校教員には役に立つのではないか（西本）
- ・回覧書籍には処理の方法は掲載されているが、準備と後処理の説明がなく、エラーが出たときの対応が教員には求められるのではないか
- ・プログラムは短く作成し、テーブル（表）は将来を見越してあらゆる想定をしておくのがプロの仕事（岡田）

回覧書籍

『Microbit で学ぶプログラミング ブロック型から JavaScript そして Python へ』コロナ社

以上